

大規模な地震・津波を想定した防災訓練実施について

～平成 30 年度 小樽港大規模地震・津波総合防災訓練～

北海道開発局 小樽開発建設部 小樽港湾事務所

平成 30 年 10 月 28 日(日)、雨模様の中、18 機関・団体から約 180 名が参加し、小樽港の勝納ふ頭で大規模地震・津波総合防災訓練を実施しました。

橋本小樽開発建設部長から訓練開始の宣言、浅輪国土交通省大臣官房技術参事官から開催挨拶ののち、来

賓でお見えになった中村裕之衆議院議員、佐藤英道衆議院議員、本多平直衆議院議員、池田真紀衆議院議員、迫小樽市長からご挨拶をいただき訓練が開始されました。



浅輪大臣官房技術参事官 開催挨拶



中村裕之衆議院議員 来賓挨拶



佐藤英道衆議院議員 来賓挨拶



本多平直衆議院議員 来賓挨拶



池田真紀衆議院議員 来賓挨拶



迫 小樽市長 来賓挨拶

訓練は、小樽沖を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、小樽市内で震度6弱を観測。直後に大津波警報が発表され、最大8mの津波が来襲、その後津波注意報に切り替わり、津波注意報も解除された状

況という想定で、①避難訓練、②漂流者捜索・救助訓練、③港湾巡視訓練、④油防除訓練、⑤航路啓開訓練、⑥被災状況調査訓練、⑦緊急支援物資輸送訓練の7項目の訓練を行いました。



①避難訓練



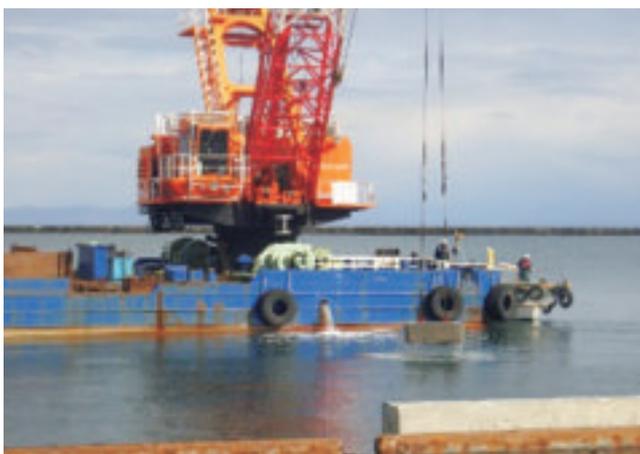
②漂流者捜索・救助訓練



③港湾巡視訓練



④油防除訓練



⑤航路啓開訓練



⑥被災状況調査訓練



⑦緊急支援物資輸送訓練

訓練後、真田北海道開発局港湾空港部長から「訓練に参加された方々の声かけには臨場感が有り迫力ある訓練だった。合わせて、津波注意報解除後の対応について、各関係機関の役割と相互連携が確認でき有意義で、防災意識の向上にも寄与した。」との講評をいただき、無事訓練を終了することができました。

今後も、より一層の安全・安心な港湾活動の実現に向け継続的に訓練を実施し、災害時にも関係機関が連携して迅速な対応ができるよう努めてまいります。



真田港湾空港部長 講評